

地区社会福祉協議会の取り組みの検証

しもまち地域		ページ
1	入舟地区	1
2	栄地区	2
3	湊地区	3
4	豊照地区	4
5	新潟地区 (旭水地区と合同)	6
6	礎地区	8
7	大畑地区	9
8	旭水地区 (新潟地区と合同)	10
上新潟島地域		
9	鏡淵地区	12
10	白山地区	14
11	浜浦地区	16
12	関屋地区	18
13	有明台地区	19
江東地域		
14	南万代地区	21
15	万代地区	22
16	長嶺地区	24
17	沼垂地区	25
みなみ地域		
18	鳥屋野地区	26
19	上山地区	27
20	女池地区	29
21	上所地区	31
22	紫竹山地区	33
23	笹口地区	34
24	山潟地区	35

1. 入舟地区

1. 目標・目指す姿

- ①集える場所が増え助け合えるまち
- ②若者や子どもや高齢者などみんなが共存できるまち
- ③空き家を含めて将来に備えみんなが考えられるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
	◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。
① 顔の見える地域づくり	・「しもまち笑顔の家(毎週火曜・金曜開催)」 ・「しもまち圏域の支え合いの仕組みづくり会議」 ・「緊急情報キット配布事業」について、地区内すべての自治・町内会宛てに取り組みを要請
② 多世代交流	・6月1日「春のふれあい健康ウォーキング」 ・10月26日「赤ちゃん誕生お祝い交流会」 ・11月16日「入舟地区ふれあい交流会」 演芸鑑賞・健康体操・津軽三味線 ビンゴゲーム等 〈今後実施予定〉 ・3月15日「第3回みんなで楽しもう会」 ・3月中旬「中学校卒業・小学校入学おめでとう事業」
③ 将来に備えよう	・10月19日「自主防災訓練」 はしご車を用いた消防活動見学・ 患者搬送・避難補助・認知症対応訓練等

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
地域福祉活動計画を検証する会を毎年開き、進捗を確認し、取り組み方については適宜修正していく。	・地区社協役員会などで進捗状況の確認を行っている。

2. 栄地区

1. 目標・目指す姿

- ①世代交流の活性化
- ②ふれあいの場（機会）の確保
- ③人材の育成・他機関との連携強化

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
	◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。
① 世代交流の活性化	<ul style="list-style-type: none">・小・中学校との連携で、回数は多くないが、クラブ活動や総合の学習、行事への参加機会があった。・学生との交流を期待する声があり、大学側の話聞く機会があった。
② ふれあいの場（機会）の確保	<ul style="list-style-type: none">・10月に数年ぶりに福祉交流会を開催することができた。・北部コミセン以外に、新たな会場確保が難しくなっている。栄地区内に適当な会場がない。
③人材の育成・他機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none">・学校コーディネーターを通して、小・中学校との連絡がスムーズにいった。・高齢化がすすんできたことにより、スタッフの募集、人材の育成がさらに困難になってきた。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
毎年、地区社協の役員が集まって進捗を確認する。	・令和8年4月の役員会で、実施事業の総括及び次年度事業の見通しを立てる(令和7年度実施事業を継続)。

3. 湊地区

1. 目標・目指す姿

- ①生活の中に相互扶助の力があって住みやすいまち
- ②若い世代の子育てにも配慮のある安心・安全なまち
- ③住民の多様な声に対処できるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
	◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。
① 相互扶助	・「地域の茶の間」や「花めぐり」「健康講座」は、中央区社協の応援を受け予定通り実施できた。
② 子どもの安心安全	・登校時の見守り活動に常時参加する人のほかに、曜日を決めての参加者を若干増やすことが出来た。
③ みんなが参加するイベント	・「子ども体操」、「マジック・もちつき大会」を予定通り実施できた。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
コミ協総会等の事業報告（年1回）の際に進捗を確認する。	・5月開催予定のコミ協総会で事業報告を行う予定である。

4. 豊照地区

1. 目標・目指す姿

- ①福祉・厚生部会（構成4団体）の連携を密にして、助けを求める人を網の目から漏らさないよう支援
- ②災害時における避難支援の拡充
- ③向こう三軒両隣のお付き合いがスムーズで、住んでいてよかったと思える環境づくり

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 安心・安全	<p>◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none">・喫緊の課題であった津波一時避難場所の廃止に伴う代替施設については、行政の計らいにより自宅に近い民間施設への避難が可能となった。また、今までの避難場所旧豊照小学校の跡地売却にあたっては、後に出来る施設に津波一時避難場所としての機能を持たせることを売却条件とするよう行政に申し入れた。・各自治(町内)会長と豊照民児協との懇談会においては、「困った人が「助けて！」と声をあげ易い環境を整えることが何よりも重要」であり、見守りを通して、「だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせる町づくり」を進めるよう協力をお願いした。
② 緊急時の避難支援	<ul style="list-style-type: none">・豊照防火・防災連合会による避難訓練の実施、防災士による非常持ち出し品の確認、防災関連用品の支給。・災害発生時の安否・支援要請の確認や町内会の諸活動について、スマホアプリの活用が広がりつつある。高齢世帯が多い当地区での利用について検討を始めた。
③ 多世代の地域活動への参加	<ul style="list-style-type: none">・健康体操、夏祭り、敬老会、豆まき、地域の茶の間トヨテールなど各世代の住民が交流した。引き続き多くの住民が参加するよう取組を進める。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
コミュニティ協議会の役員会・総会において計画の振り返りを行う。	・定期的に行われる役員会、年に一度の総会において活動報告を行った。また、各行事の参加者の意見を集約・検証し、次回開催時の改善につなげる。

5. 新潟地区（旭水地区と合同）

1. 目標・目指す姿

- ①高齢者も若い人も夢のある街
- ②多世代が交流できる街
- ③地域みんなが集う場所のある街
- ④お互いに助け合い・協力できる街

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
	◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。
① 高齢者も若い人も夢のある街	〈新潟地区〉 ・令和5年度から緊急情報キットを運用しており、コミ協と連携しながら、自治会長を中心に見守り訪問と新規希望者への配布を行いました。 〈旭水地区〉 ・月1回の茶の間が誰でも参加できる茶の間となるように、クリスマス会や警察官による講演会を行いました。
② 多世代が交流できる街	〈新潟地区〉 ・夏の海岸清掃や松くい虫対策のなど、地域の皆さんからの協力を得て活動を行いました。また、新潟小学校の「寄居かぶ」作りのサポートも行いました。 〈旭水地区〉 ・7月に子ども会、保護者、町内会役員で、西海岸公園の草取りを行いました。
③ 地域みんなが集う場所のある街	〈新潟地区〉 ・寄居コミュニティハウスの移転新築計画が進んでおり期待している。 〈旭水地区〉 ・なぎさ荘でヨガ教室や毎週水曜日のラジオ体操に地域みなさんの参加を期待している。

④ お互いに助け合い・協力できる街	<p>〈新潟地区〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミ協、赤十字、小・中学校PTAなどと協力して、防災訓練の活動を行いました。 <p>〈旭水地区〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員とお互いに協力しながら活動をすすめました。
-------------------	--

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無 (詳細も記入)
毎年の総会等の機会に計画の進捗を確認し、取り組み方については適宜修正していく。	<p>〈新潟地区〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定例総会時に活動状況報告を行うとともに、社協だよりを発行して地区社協の活動状況を理解してもらえるように努めた。 <p>〈旭水地区〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会役員会で協議検討し、総会で活動報告を行ったうえで、意見・要望を聞く機会を設けた。

6. 礎地区

1. 目標・目指す姿

- ①自治会・町内会の活性化～地域の人との交流が図れるまち～
- ②健康を保てるまち
- ③声かけしあえるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
	◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。
① 地域の交流	・地域の行事を開催し、広報のチラシや自治会からの声かけで、三世代の大勢の参加で住民の交流が出来た。
② 住民の健康	・緊急医療キットの配布やラジオ体操、カーリンコン大会等の開催時に健康の啓発を行った。
③ 住民同士の声かけ	・各町内で見守り・声かけに取り組んだ。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
毎年総会等の機会に計画の進捗を確認し、取り組み方については適宜修正していく。	・コミ協の会議にて計画を立て、総会時に進捗を確認し、適宜修正した。

7. 大畑地区

1. 目標・目指す姿

- ①ご近所でお互い支え合い、助け合うまちづくり
- ②誰もが安心・安全に暮らせるまち
- ③みんながいきいきと生活し、気軽に交流できるまち
- ④災害時にみんなで助け合う体制づくりがあるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
	◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。
① 交流の活性化	・ イベントを通じてご近所に住んでいる方や地域の方の把握ができるようになってきたが、若い人達にも参加してもらえるような交流の場を増やしていきたい。
② 見守り	・ 各自治会も高齢者が増え、見守る人も高齢となっている。イベント等での声かけによる安否確認はできるようになってきたので、普段の生活にもつなげていけるよう町内会長と連携をとっていきたい。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
毎年総会等の機会に計画の進捗を確認し、取り組み方については適宜修正していく。	・ 集会やイベントでの話を参考にし、各町内会長と話し合うことができています。

8. 旭水地区（新潟地区と合同）

1. 目標・目指す姿

- ①高齢者も若い人も夢のある街
- ②多世代が交流できる街
- ③地域みんなが集う場所のある街
- ④お互いに助け合い・協力できる街

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
⑤ 高齢者も若い人も夢のある街	◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。 〈新潟地区〉 ・令和5年度から緊急情報キットを運用しており、コミ協と連携しながら、自治会長を中心に見守り訪問と新規希望者への配布を行いました。 〈旭水地区〉 ・月1回の茶の間が誰でも参加できる茶の間となるように、クリスマス会や警察官による講演会を行いました。
⑥ 多世代が交流できる街	〈新潟地区〉 ・夏の海岸清掃や松くい虫対策のなど、地域の皆さんからの協力を得て活動を行いました。また、新潟小学校の「寄居かぶ」作りのサポートも行いました。 〈旭水地区〉 ・7月に子ども会、保護者、町内会役員で、西海岸公園の草取りを行いました。
⑦ 地域みんなが集う場所のある街	〈新潟地区〉 ・寄居コミュニティハウスの移転新築計画が進んでおり期待している。 〈旭水地区〉 ・なぎさ荘でヨガ教室や毎週水曜日のラジオ体操に地域みなさんの参加を期待している。

⑧ お互いに助け合い・協力できる街	<p>〈新潟地区〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミ協、赤十字、小・中学校PTAなどと協力して、防災訓練の活動を行いました。 <p>〈旭水地区〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員とお互いに協力しながら活動をすすめました。
-------------------	--

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無 (詳細も記入)
毎年の総会等の機会に計画の進捗を確認し、取り組み方については適宜修正していく。	<p>〈新潟地区〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定例総会時に活動状況報告を行うとともに、社協だよりを発行して地区社協の活動状況を理解してもらえるように努めた。 <p>〈旭水地区〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会役員会で協議検討し、総会で活動報告を行ったうえで、意見・要望を聞く機会を設けた。

9. 鏡淵地区

1. 目標・目指す姿

- ① 困りごとを気軽に相談できるまち
- ② 声掛け・あいさつをして、安心して暮らせるまち
- ③ 住民同士の交流を盛んに行い、みんなが知り合えるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
	◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。
① 困りごとを気軽に相談できる	<ul style="list-style-type: none">・「お茶の間」では、包括支援センターの方に来ていただき、相談できる機会がある。・相談できる窓口(包括支援センター、社協、保育園など)を認知してもらうための情報発信が大切。・地域の困りごとに対して、民生委員、自治会で情報を共有・連携できるとよい。
② 安心・安全なまちづくり	<ul style="list-style-type: none">・「お茶の間」「町内会」で地域の防災士の方のお話を聞く機会が増え、防災意識が高まっている。・スーパーのイオンで買い物ができるようになり、地域が活性化したと感じる。・コミ協、社協、他機関と連携がとれていると思うが、各機関が協働していく機会があるともっと良くなる。
③ 住民同士の交流をつくる	<ul style="list-style-type: none">・「三世代運動会」「三世代豆まき大会」「地域のつどい」などの三世代交流はできているが、人材不足の町内会役員などを若い人に参加してもらいたい。・「白山市場」でのイベント、「子ども食堂」「夜の茶の間」など地域住民が集まる場所ができ、交流が盛んである。・小学生の子ども達が大人を巻き込み、地域の活性化につながっている(ひだまりラリー、献立を弁当屋さん とタイアップして販売、昔遊び、ゲーム大会など)。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
コミ協と一緒に年に1度集まり計画の進捗確認を行う。	・令和8年1月17日「第3期地域福祉活動計画振り返りの会」実施。中央区社会福祉協議会、地域包括支援センター、新潟市健康福祉課、地域の保育園、鏡淵コミュニティ協議会、鏡淵小学校、白新中学校のコーディネーター、地域の茶の間代表、鏡淵地区社会福祉協議会の方に参加していただき、有意義な会となった。次年度も開催予定。

10. 白山地区

1. 目標・目指す姿

- ①声掛け・あいさつのあふれるまち
- ②行事にみんなが集う世代交流
- ③向こう三軒両隣助けあいで安心できるまち
- ④高齢者が活躍できるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
	◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。
① 声掛け・あいさつ	<ul style="list-style-type: none">・民生委員を中心に地域の子ども見守り隊の方々と一緒に、登下校時の声掛け・挨拶活動を実施。・友愛訪問時等に各種行事への参加を要請。
② 行事に集い世代交流	<ul style="list-style-type: none">・白山小学校の生徒及び近隣の保育園等の子供たちと合同で千灯まつりの灯ろう作りを行い、多くの参加を得た。・今年も秋の落葉時期に合わせ、地域の清掃活動を世代を超えて実施。
③ 助けあい安心のまち	<ul style="list-style-type: none">・恒例の秋の防災訓練を10月に実施。(約130名参加)避難所での生活体験を経験しながら、協働作業の必要性を再認識した。・敬老のお祝い会を白山会館で実施。(約70名参加)白山神社で「健康長寿のお祝い」を全員で受けた。
④ 高齢者が活躍できるまち	<ul style="list-style-type: none">・新潟まつりを初め、千灯まつり及び各種行事に高齢者が積極的に参加者を募り、盛会の内に終了する事ができた。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
地区社協説明会の時に振り返る。	・白山校区コミュニティ協議会ふれあい交流部会で検証を実施。

	・各種行事に多数の老若男女の参加者を得た。
--	-----------------------

1 1. 浜浦地区

1. 目標・目指す姿

- ①住んで良かったと思えるまち ～住み続けたい、憧れる地域でありたい～
- ②世代間交流が活発なまち
- ③高齢者が自ら地域活動に参加し、安心して暮らせるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 憧れる、住んで良かったまち	<p>◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の後継者問題はサポーター制度の導入など、一部で参考となる取り組みもみられるものの、ほとんどの組織で深刻な問題となっているほか、小さな自治・町内会や空き家問題を含め、継続的に検討を進める必要がある。 ・新生児を迎えた家族や子育て家庭相互の交流、地域と児童がともに参加する多くの取り組み(合同演奏会、映画上映会、各種スポーツ大会、海岸林環境保全、フラワーアレンジメントレッスン)など、子どもを介した交流活動を積極的に実施し、大勢の住民が集い、時間・空間・知識・感動を共有した。 ・様々な単位や実施内容で防災に関する取り組みが行われ、意識、知識が深まるなど、“住んで良かったまち”を実感しつつ、その継続・発展を目指そうとの気運が高まった。
② 世代間交流を活発に	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の歴史・風土(海岸林等)の学習や、地域福祉に関する講習を実施するとともに、各種交流行事を継続実施した。その結果、地域に関する「もの、こと、人」の発見があり、地域を愛する心が育まれ、世代間交流の活性化とともに、活動の広がりが期待される。
③ 高齢者が自ら社会参加しやすいまち	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の茶の間が継続開催されたほか、高齢者を含めて気軽に集まり、顔が見える関係ができています。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無 (詳細も記入)
適宜、コミ協の会議で発表をする。	・地域福祉活動を担っている団体等の集合体のコミ協の毎月の会議の場で、それぞれの活動状況が発表される。それらの情報を踏まえ、1年間を振り返った検証の素案を地区社協が作成し、会議の場で了承を得た。

1 2. 関屋地区

1. 目標・目指す姿

- ①みんなが交流し、協力しあえるまち
- ②子どもたちが生き生きと育つまち
- ③健康に暮らせるまち
- ④安心・安全なまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
	◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。
① みんなが交流し協力	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区社協からの活動交付金を各自治会・町内会に会員会費額に合わせて配布し、敬老祝い金や子ども会活動費などに充当した。 ・関屋田町2丁目5区自治会では、環境改善のため、中央区社協からも応援をいただき、町内側溝の泥さらいを行った。
② 子どもたちがいきいき育つまち	<ul style="list-style-type: none"> ・8月の夏休み明けに関屋浜海岸清掃をコミ協、育成協、地区社協の協力の下、関屋小学校の学校行事として計画したが、8月下旬の高温のため児童の体調管理を優先して、中止となった。次年度以降は開催時期を検討することになった。
③ 住民が健康に暮らせるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・大人のラジオ体操を11月まで活動期間を延長して開催した。参加者たちは朝の顔合わせが一日の元気に繋がると、好評のうちに活動を終えた。
④ 安心・安全なまち	<ul style="list-style-type: none"> ・関屋小学校と新潟高校に、関屋地区社協会員有志をはじめ関係者が避難所運営委員会を組織して、災害時の対応に当たる検討会を開催した。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
毎年リスニング会議等を開き、計画の進捗を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年12月9日に地区社協役員会（リスニング会議）を開催し、上記項目について検証した。

1 3. 有明台地区

1. 目標・目指す姿

- ①気軽に声をかけあい、おもいやりのあるまち
- ②居場所のあるまち
- ③高齢者と若者が交流できるまち
- ④「新しい生活様式」を実践するまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 声をかけあいおもいやりのあるまち	<p>◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係の希薄化が進み、一人暮らし高齢者は家に引きこもりがちである。コミ協「秋祭り」や「歳末ふれあいお楽しみ会」を開催し、地域における住民の交流の場を増やす工夫をしている。
② 居場所のあるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の高齢化や参加者数の減少により、残念ながら閉鎖に追い込まれるお茶の間もでてきた。 ・子ども達は、自分達で学校内にお茶の間を開催し、地域の住民に参加を呼びかけ始めた。開催内容を工夫し、不登校の子ども達やひきこもり等の居場所として継続してほしい旨を、学校運営協議会において要望している。
③ 高齢者と若者が交流できるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の健全育成を目指した「親子夕食会」を復活開催し、ようやくコロナ禍前に戻りつつあることを実感できるようになった。 ・ひまわりクラブの一人帰り支援ボランティアの活動は、感染症対策を実施したうえで休止することなく継続している。 ・関屋分水路右岸花文字花壇づくり事業や新潟マラソン前の一斉クリーン作戦等の活動に若者へも声かけを行い、高齢者と交流できる場を作っていきたい。
④ 「新しい生活様式」を実践	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍前は「歳末ふれあいお楽しみ会」で餅つき大会を実施し、黄な粉餅やあんこ餅、汁餅を会場におい

	<p>て参加者に振舞っていた。コロナ禍以降は、会場内ですべての飲食を禁止している。会場内で搗き立ての美味しいお餅を食べてもらえる日が早く来ることを願っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスクの着用や手指の消毒等の感染症対策は、「新しい生活様式」の基本中の基本であることを再確認し、今後とも実践していきたい。
--	--

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無 (詳細も記入)
<p>目標の各項目について自治会・町内会役員をはじめ町内の住民にアンケート調査を実施し、その結果を回覧する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民等に対するアンケートの実施は見送り、令和8年1月20日(火)に開催した第9回コミ協定例会において、振り返り(案)を役員に対して周知した。

1 4. 南万代地区

1. 目標・目指す姿

- ①ご近所さんの顔がみえるまち
- ②人と人との助けあいやつながり、交流のあるまち
- ③健康で、安心・安全で、暮らしやすいまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
	◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。
① 組織の機能強化	・今年度の防災訓練は、新潟大学の卜部教授を招き、南万代地域に特に関係の深い話の講演を聞き、住民にまずは危機感を持ってもらうことを目的に行った。
② コミ協会員への加入	・意見交換会、その他の集まりを通してコミ協役員の参加を願っているが、まだ結果が出ず、もう少し続ける。 ・未加入の集合住宅へのアプローチの結果がまだ出ていない。
③ 活動行事の宣伝	・「コミ協だより」を多くの人に読んでもらおうと、写真を多くし、なるべく多く行事を載せ、興味のもてる工夫をしている。 ・行事に学校を取り込んで、子ども、保護者、高齢者を呼び込み、住民が関心を持てるように参加者の増大を試みている。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
運営委員参加の「組織の強化を検討する会（仮称）」を設置し検証する。	・役員会で話題にはなるが、設置までは至らない。

15. 万代地区

1. 目標・目指す姿

- ①みんなが気軽に話せる風通しの良い街
- ②住民が地域に関心を持ち、地域行事に参加する街
- ③ハード・ソフト面の環境整備が進む街

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
	◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。
① リーダー育成と拠点の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・当地域では核家族化・単身高齢者の増加などの問題を抱えており、加えてマンションやアパートなどの増加により、新たな人材発掘等が困難な状況であり、次世代の担い手不足に陥っています。 ・コミ協の事務所も模索中です。
② 企画と広報	<ul style="list-style-type: none"> ・コミ協で各自治・町内会などから問題を吸収して、個別に毎月開催される理事会等で検討しています。 ・コミ協で地域課題と思う「勉強会」や「講演会」などを企画し、総会において地域の首長に報告をしています。 ・コミ協のHPで広く広報、発信をしています。
③ 意見の集約と発信	<ul style="list-style-type: none"> ・コミ協の毎月開催の理事会において、個別事案等について検討し、年度末の役員総会・総会にて年度内の問題や個別事案の検討結果などを報告し、HPや総会資料で、報告・発信をしている。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
前回の計画とも照らし合わせながら、地域の話し合いの場で検証する。	<ul style="list-style-type: none"> ・年々変化の激しい地域ですので、既存の地域システムの見直し・再考をして新たな地域システムの構築を目指していかなければ維持が困難な状況となっています。

	<ul style="list-style-type: none">・高齡化により、担い手も不足し、育成も難しくなっているのが、コミ協を含む自治・町内会の実情です。
--	--

16. 長嶺地区

1. 目標・目指す姿

- ①元気で長生き～びんぴんころりん～
- ②安心安全、活力のあるまちづくり
- ③地域活動の担い手の育成

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
	◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。
① 交流と深化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の茶の間「たんぼぼ」「料理教室」を月一回、「チューリップ」を毎週開催して、交流の機会を作った。 ・ほんぼーと桜の会、ふれあい三世代交流会、コミ協夏まつり、たんぼぼクリスマス会、元気ウォーク、芋煮会等を開催し、世代間交流を図った。 ・移動スーパーで買い物支援の取り組みを行った。
② 見守りの体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい給食と民生委員の友愛訪問で、高齢者の見守りを行った。 ・毎朝小中学生の登校時に、交通誘導、交通安全指導を行った。 ・自治会町内会毎の防火防犯パトロールを行った。
③担い手の育成 意見の集約と発信	<ul style="list-style-type: none"> ・コミ協夏まつりや芋煮会を開催して子育て世代の参加を得た。また、若手が参加できるイベントを通して、担い手の育成を行っていきたい。 ・活動毎にコミ協だよりを発行し活動内容を発信した。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
年に1回、長嶺コミ協地域福祉活動部会にて検証する。	・毎月開催している役員会を、地域福祉活動部会にて、検証を行った。

17. 沼垂地区

1. 目標・目指す姿

- ①いろいろな人が明るく元気に助けあえるまち
- ②地域と学校が協働できるまち
- ③高齢者の活動が活発なまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
	◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。
① 挨拶のあるまちづくり	<ul style="list-style-type: none">・高齢化によって、人口減になりつつあります。・商店街の減少等で人々の交流も少なくなっております。・積極性が少しなくなりつつあります。
② 学校との協働	<ul style="list-style-type: none">・春と秋の2回、町内子ども会として集まりがあり、先生、生徒、担当民生委員が顔を合わせる機会がある。
③いきいき高齢者 健康維持・介護予防	<ul style="list-style-type: none">・行事数の減少はありませんが、会員の人数が増えず、現状維持の状態です。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
沼垂小学校区コミュニティ協議会で周知をし、福祉部を中心に総会で検証を行う。	<ul style="list-style-type: none">・総会では時間の関係で行っていない。

18. 烏屋野地区

1. 目標・目指す姿

- ①住民どうしのあいさつと交流があるまち
- ②世代間交流ができているまち
- ③災害時の支援体制が充実したまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
	◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。
① あいさつと交流	<ul style="list-style-type: none">・通勤、通学の人たちと朝の挨拶。・セーフティスタッフとして子ども達との朝の挨拶。・近所の人たちとの日常会話。
② 世代間交流	<ul style="list-style-type: none">・盆踊り大会の開催。・各町内での餅つき大会の開催。・烏屋野小学校での「とやのふれあい祭り」の開催、「クリスマスお楽しみ会」の開催。・各町内での子どもたち参加の祭り。
③ 災害時の助け合い	<ul style="list-style-type: none">・校区自主防災会主催による小学6年生も参加しての防災訓練の実施。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
計画を自治会で配布し、半年に一度くらい見直す場を持ちたい。	<ul style="list-style-type: none">・隔月でのコミュニティ協議会での話し合い。

19. 上山地区

1. 目標・目指す姿

- ①向こう三軒両隣が生きているまち
- ②小さな活動が積み重なり、あいさつがし合えるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 向こう三軒両隣	<p>◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。</p> <p>・「地域の絆を大切にしていきたい」、「隣近所の感覚で気軽に集まる場所を作っていきたい」の二点について・・・</p> <p>上山地域では2017年から、てらこや食堂が運営されており、コロナ禍の休止を挟んで、地域の居場所として定着している。</p> <p>毎回、スタッフと参加者を合わせて60名ほどの参加があり、赤ちゃんや幼児を連れた親子から、小中高生、そして民生委員に連れられて地域のご年配の方までが集う場となっている。多くの方が人との交流を求めて参加している印象を受ける。</p> <p>中には一人親家庭や、不登校の子ども、そして心身に疾患を抱えた参加者もいる。明白な問題があるとは言えなくとも、私たちは誰もが悩みや不安の中で生きており、地域の方とつながる場、気軽に足を運べる場が必要とされているのではないだろうか。</p> <p>子ども食堂のような地域の居場所がますます必要とされていることを実感している。</p>
② あいさつし合える関係づくり	<p>・今年も防災訓練を開催した。参加人数は一般261名、6年生109名の計370名。今年度の内容は女性防災士が講師で避難所運営に女性も参画し女性目線での運営の必要性などについて、避難所用品設営デモの講話があった。今後は上山小・上山中それぞれの避難所運営マニュアル作成など含めて避難所運営について検討していきたい。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつし合える関係づくりのために地域で、自治会や子ども会が中心となって交流の場を設けている。 <p>映画上映会 町内まつり（じゃんけんレース、リレー、ビンゴ） バーベキュー大会 備蓄食体験会 スマホ教室 赤ちゃん誕生お祝い会</p> <p>様々な場の中で出会いがあり、「同じマンションに住んでいる方と親しくなれた」「また交流の場を作ってほしい」などの感想が寄せられた。</p>
--	--

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
6年計画は長いので振り返る機会を持ち、課題があれば見直していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員と会って地域の出来事や行事について話す機会はあるが、正式な情報交換会のような形をとってはいない。どのように振り返りの場を持つかは今後の課題としたい。

20. 女池地区

1. 目標・目指す姿

- ①安心・安全で住みやすいまち
- ②みんなで声をかけあうまち
- ③三世代が地域に根ざすまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 安心・安全住みやすいまち	<p>◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。</p> <p>(1)防災関連</p> <ul style="list-style-type: none">・女池小学校、紫竹山小学校、鳥屋野中学校、江南高等学校の4か所の避難所でそれぞれ防災会を立ち上げた。・4か所の避難所でそれぞれ避難訓練や研修会を開催した。・鳥屋野潟の水害対策の築堤にあたり、地元説明会を開催した。 <p>(2)空き家問題</p> <ul style="list-style-type: none">・元気で安全な町にするため、空き家学習会を開催した。 <p>(3)学童見守り</p> <ul style="list-style-type: none">・立哨、ながら見守りを継続し、メンバーを募集した。 <p>(4)医療情報キット</p> <ul style="list-style-type: none">・各自治会から申請を受け、配布した。 <p>(5)草取り活動</p> <ul style="list-style-type: none">・任意の時期に草取り活動ができるよう、5月に年間の必要枚数のゴミ袋と軍手を配布した。
② みんなで声をかけあうまち	<p>(1)健康体操</p> <ul style="list-style-type: none">・月2回の健康体操を継続的に実施した。・年2回、健康体操の時間に健康に関するミニ講演会を組み入れた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度より、健康体操とは別枠で月1回の手話ダンスを実施する予定であるが、その準備を始めた。 (2)地域の茶の間 <ul style="list-style-type: none"> ・全6茶の間に25,000円ずつの助成を実施した。 (3)トリットボール大会 <ul style="list-style-type: none"> ・春と秋に大会を開催し、それぞれ30から40人の参加があった。
③ 三世代が地域に根ざす	<ul style="list-style-type: none"> (1)野球大会 <ul style="list-style-type: none"> ・針と秋に町内野球大会を開催し、10代から70代の交流を促進すると共に、体力を向上させた。 (2)女池小学校ふれあいスクール <ul style="list-style-type: none"> ・ひと月2回以上ふれあいスクールを実施し、子供たちと地域の人達の交流を図った。 ・女池っ子縁日にコミ協としてブースを出し、ミニゴルフをプレーしながら子供たちと一緒に楽しんだ。 ・女池小学校創立150周年事業の冊子が完成した。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無 (詳細も記入)
6年計画は長いので振り返る機会を持ち、課題があれば見直していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・総務部会、役員会、総会で都度振り返りを実施している。 ・コミ協だよりを年2回開催し、振り返ると共に、全世帯に配布し、報告している。

2 1. 上所地区

1. 目標・目指す姿

- ①健康寿命を長くするまち
- ②ご近所さんの顔が見えるまち
- ③隣近所の住民同士が語り合え、自然と助け合いができるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 健康寿命を長く	<p>◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高年齢者対象の健康貯筋運動（4月～3月）2～3月の見込含む 毎週金曜日開催：45回、延参加人数：3,330人 対象者の生活質向上のサポート、参加意欲も高く参加者の健康寿命延伸に大きく寄与している。 ・健康寿命延伸をテーマの講演会 9/27（土） 「元気で安心！おひとりさま暮らし」より良い終わりを！ 講師：NPO法人 身寄りなし問題研究会 代表 須貝秀昭氏 94名の参加を得て開催、一人になったら注意すべきこと、どう過ごすか（人とのつながり）、準備すべきことを分かり易く学ぶことができた。 今年も地域包括支援センターの説明時間が安心感を与えた。
② ご近所さんが顔見知り	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の茶の間担当者会議」 6茶の間が参加 ●6/10（火）地区社協、コミ協福祉保健部会として案内、活動計画及び意見交換。 ●2/19（木）地区社協、コミ協福祉保健部会として案内済み、活動報告及び意見交換の予定。 ●茶の間訪問 活動内容（講演フレイル対策他・クイズ・誕生会・クリスマス会・体操・茶話等）
③ 語り合いと助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急情報キットの配付と訪問（24自治・町内会） キット保有者461件と新規配付53件含む配布先514件を訪問して安否確認、保有者450件と使用NG64件を確認した。訪問品に新潟市指定ゴミ袋を配付好評。 ・赤ちゃん誕生祝い 10/4（土） 中央区の特色ある区づくり事業で協働、21組の保護者と赤ちゃんの記念写真とベビーマッサージ。保健師による育児相談で交流が図れた。パパ10人の参加は過去最大。 ・ゴミ出し支援

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無 (詳細も記入)
・地区社協、コミ協役員会議にて ・上所コミ協の加入自治町内会聞き取り	・緊急情報キットの配付(15年)と訪問(10年)は各自治町内会を通じて活動を推進している。 ・各種行事、ゴミ出し支援の有無確認。

2 2. 紫竹山地区

1. 目標・目指す姿

- ①多世代の交流があるまち
- ②子どもたちが明るく元気に育つまち
- ③次世代の育成とふれあいづくり

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
	◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。
① 多世代交流	・紫竹山校区と女池校区神道寺地区の自治会防災会及び紫竹山小学校PTA共催の防災訓練を開催し、地域住民、小学校PTAと児童の多世代参加による防災訓練を実施し、交流を図った。また、小学校長、地域消防団員、行政職員との連携を図った。
② 子どもたちを見守るまち	・育成部、セーフティスタッフ、自治会役員による、児童の登下校の見守り・指導を行っている。
③ 次世代の育成とふれあいづくり	・紫竹山地区民生委員児童委員は、毎月第1金曜日に駅南コミセンで「駅南茶の間」を開催し、今年も紫竹山小学校の児童、先生を迎え、交流を図った。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
6年計画は長いので適宜振り返り、見直しを行う。	・行事实施後に振り返りを実施し、課題の洗い出しもを行い、次年度の計画策定に反映させる。

23. 笹口地区

1. 目標・目指す姿

- ①安心・安全なまちづくり
- ②若い力が育ち、次世代へつながるまち
- ③マンション住民と交流できるまち
- ④身近な地域に交流のある場所があるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
	◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。
① 安心・安全なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の登下校見守り活動を継続。 ・防災訓練を実施(消化、AED体験、救急法体験)。 ・0m地帯であることを考慮し、大河津分水、三条水防館の見学実習を実施。
② 次世代へつながるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・光のページェント参加の児童への支援。 ・ほっとハウスで行う児童参加行事の支援。 ・中学校と連携し駅周辺のクリーンアップ作戦参加。
③ マンション住民との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治会主催の行事へのマンション住民参加の働きかけ。 ・「おむすびより」でマンション住民への働きかけ。
④ 身近な地域の交流場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ほっとハウス事業に協力。 ・「地域の茶の間」「おむすびより」の開催に助成。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
コミ協・地区社協の定例会の中で事業計画と共に見直しを図る。	・コミュニティ協議会、地区社協の合同定例会(原則月1回)にて、計画・現状報告・検討等を行っている。

24. 山瀉地区

1. 目標・目指す姿

- ①多世代の交流がさかんなまち
- ②地域の人同士が顔の見える地域にしたい
- ③身近な場所・活動拠点で交流ができるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 多世代交流	◆の項目（1項目以上）への検証をお願いします。 <ul style="list-style-type: none">・地域の茶の間、子育てサロンを活用して多世代で交流する。・各自治会の活動が活発で、「祭り」や「さいの神」などの行事を行い、世代を超えて交流している。・歳末たすけあいお楽しみ会を開催。飲食も伴う開催で、大いに盛り上がり交流が出来た。 (会場：山瀉コミュニティハウス)
② 地域の人同士、顔の見えるまち	<ul style="list-style-type: none">・やまがたお互いさまの活動で、ゴミ出し支援や草とり、雪のけなどの支援活動を通して支えあいの輪が広がっている。 地域包括支援センター山瀉と協力、連携したことにより、一層活動しやすくなった。・見守り活動として、緊急医療情報キット（ファイル形式）を希望する人に配布。自治会等に周知。 毎年周知する機会があることにより、少しずつではあるが理解されてきている。
③ 身近にある活動拠点で交流を	<ul style="list-style-type: none">・山瀉社協、山瀉コミ協、自治会、民生委員の情報交換会を継続して毎年開催。新しい自治会長にも社協の活動を含め説明する機会となっている。・地区内の小中学校での学校ボランティアの活動。・山瀉コミ協、民児協、社協が連携して各種事業を推進。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無 (詳細も記入)
<ul style="list-style-type: none">・形に現れないものは進捗の確認が難しい。・中高生が参加し振り返りを行ってはどうか。	<ul style="list-style-type: none">・役員会を随時開催し、情報の共有化を図った。・中高生との振り返りはできなかった。これからは高校生、専門学校の生徒にもボランティア活動に積極的に参加してもらい、話し合いの機会を設けたい。・新しく山潟コミュニティハウスができたが、地区の中心ではない為工夫が必要。 →老人クラブや歳末お楽しみ会を開催して知ってもらった。